藤谷　謹至 議員
（拓政会）

問 答 スキー場の運営について
ファミリーゲレンデとして活用しながら、スキー場のあり方を見いだしたい

問 町は白銀台、明野ケ丘スキー場を運営している。今後も多くの人が利用し笑顔と歓声で楽しく利用できるスキー場の運営について以下の点について伺う。

⑴町は２カ所のスキー場をどのように運営し、どのようなスキー場にしていくのか。

⑵少ない降雪でもオープン出来るようにするためのコース整備は。

⑶スノーエスカレーターの導入を。

⑷白銀台スキー場ロッジ２階休憩室の有効利用の考えは。

⑸スキー場の夏場の利用と白銀台宿泊ロッジの改修を含めた今後の考えについて。

町長 ⑴両スキー場とも現状の規模や設備から、当面はファミリーゲレンデとして最大限の活用を図りながら、リフトの大規模更新の時期を目途に余暇活動やレジャーの嗜好（しこう）に沿ったスキー場のあり方を見いだしたい。

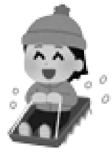
⑵少雪のゲレンデをサポートするための人工のスノーマットがあるが、導入に要する費用、日数などから導入は難しい。そりコースは利用できる状況になった時点で限定してオープンする等、状況に応じた柔軟な対応に努める。

⑶スノーエスカレーターは、高額であるため費用対効果の観点から導入は考えていない。

⑷現状においてどのような問題が生じているのか、利用者やスキー協会などの関係団体と意見交換を考えている。

⑸明野ケ丘スキー場は公園内にあるパークゴルフ場やサイクリングロード、展望台タワーを備える「ピラ・リ」と一体となって利用されている。白銀台スキー場は散策路としての活用や、マウンテンバイクのレース場として利用があった。

　宿泊ロッジは年間平均１２７３人の利用があり、夏のスキー場の活用と併せ住民会議において検討してほしい。



問 答 光ファイバー網整備完了後の有効活用と自治体DXについて推進体制も含め今後取り組みを進めたい

問 光回線情報網整備工事が７月完了し、幕別町全域で光回線サービスを利用することが可能になった。高速情報網が整備された今後の活用について以下の点について伺う。

⑴高速インターネットを町としてどのような分野で活用しようとしているのか。

⑵光回線サービスの電話勧誘トラブル防止策は。

⑶デジタルデバイドを解消する方策は。

⑷自治体ＤＸを推進するうえで早急な具体的推進計画が必要と考えるがいかがか。

町長 ⑴今年度、ナウマン象記念館でのオンライン授業やイベント開催のためにＷｉ－Ｆｉ環境の整備、農業担い手支援センターの研修棟と宿泊棟にインターネット環境の整備を行うとともに、公共施設における有効的な活用について、他の自治体の先進事例などを参考に研究していきたい。

⑵町の広報紙やホームページ、チラシなどで啓発し、トラブルが発生した場合には、速やかに町消費生活センターや国の消費者ホットライン１８８（イヤヤ）に相談するよう周知する。

⑶多くの高齢者は、生命や財産に係る必要不可欠な情報を、身近なテレビやラジオのほか、防災行政無線や広報紙により得ているものと考えている。

　引き続き防災無線や広報紙等を活用して周知し、使い方のわからないという高齢者への対応を行っていく。

⑷国から示された手順書やガイドラインを参考にすることで、円滑に作業が進められるものと考えているため、具体的推進計画の作成は予定していない。

【解説】
「自治体ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）」とは、デジタル技術やデーターを活用し、業務効率化や行政サービスの改善を進めながら、住民の利便性向上を目指す取り組み。